

PART1 術前の準備

1

1 術後回復を促進させるために……………3

術後早期の DREAM 達成を目指した術前支援と麻酔科医の役割

●谷口 英喜・山本 達夫

済生会横浜市東部病院 患者支援センター

●鎌田 高影

済生会横浜市東部病院 麻酔科

2 フレイル・サルコペニアについて……………9

●金澤 伸郎

東京都健康長寿医療センター 外科

3 理学療法士の役割……………17

●牧迫 飛雄馬

鹿児島大学医学部 保健学科理学療法学専攻基礎理学療法学専攻

●富岡 一俊

垂水市立医療センター垂水中央病院/鹿児島大学大学院 保健学研究科

4 管理栄養士の役割 術前栄養管理はなぜ必要か?……………21

●伊藤 明美

藤田医科大学病院 食養部

5 口腔ケアについて……………25

●山内 千佳

名古屋市立大学病院 歯科口腔外科

●渋谷 恭之

名古屋市立大学大学院医学研究科 口腔外科学分野

6 禁煙について 手術は禁煙のteachable moment……………31

●久利 通興

大阪大学大学院医学系研究科 生体統御医学講座麻酔集中治療医学教室

7 身体疾患の内服薬について……………37

●永井 梓・祖父江 和哉

名古屋市立大学大学院医学研究科 麻酔科学・集中治療医学分野

8 精神疾患の内服薬について……………43

●奥村 正紀

大石記念病院 精神科/昭和大学江東豊洲病院 麻酔科

●石井 瑞英

昭和大学江東豊洲病院 麻酔科

●竹田 美香

大石記念病院 精神科

9 薬剤師の役割……………55

●竹之内 正記

済生会横浜市東部病院 薬剤部/患者支援センター

10 昔の常識は今の非常識? 前投薬について……………61

●木山 秀哉

東京慈恵会医科大学 麻酔科学講座

11 周術期の褥瘡対策……………65

●熊谷 あゆ美

福井県立大学看護福祉学研究科 成人看護学

12 昔の常識は今の非常識？ 絶飲食，剃毛，浣腸について……………71

●杉田 扶希子 社会医療法人愛仁会 明石医療センター

13 臨床工学技士の役割……………75

●高階 雅紀 大阪大学医学部附属病院 手術部・臨床工学部・材料部・サプライセンター

14 術前外来 多職種チームで患者のコンディションを整える……………79

●石川 晴士 順天堂大学医学部 麻酔科学・ペインクリニック講座

●梅野 佑紀 順天堂大学大学院 医学研究科博士課程

PART2 術前合併症アップデート

85

15 高血圧……………87

●辛島 裕士 九州大学病院 手術部

16 糖尿病……………93

●北村 享之 東邦大学医療センター佐倉病院 麻酔科

17 喘息……………99

●倉橋 清泰 国際医療福祉大学医学部 麻酔・集中治療医学講座

18 慢性閉塞性肺疾患……………107

●柏 庸三 大阪はびきの医療センター 集中治療科

19 心疾患……………115

●中澤 圭介 東京女子医科大学 麻酔科

20 Fontan後患者……………125

●木島 康文 聖路加国際病院 循環器内科

●藤田 信子 聖路加国際病院 麻酔科

21 脳卒中……………133

●合谷木 徹 秋田大学大学院医学系研究科 麻酔・蘇生・疼痛管理学講座

22 コラム 麻痺側の筋弛緩モニタリングの注意点……………139

●岩崎 肇 日本大学医学部 麻酔科学系麻酔科学分野

23 腎疾患……………143

●坂本 安優・下井 晶子・小竹 良文

東邦大学医療センター大橋病院 麻酔科

24 肝疾患……………149

●柴田 純平・西田 修

藤田医科大学医学部 麻酔・侵襲制御医学講座

25 胃切除・食道切除術後患者……………157

●田中 克哉・笠井 飛鳥・大山 拓朗

徳島大学大学院医歯薬学研究部 麻酔・疼痛治療医学分野

26 長期オピオイド使用患者……………163

●堀江 里奈・天谷 文昌

京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室

PART3 周術期のリスク評価と検査項目

169

27 術後悪心・嘔吐(PONV)……………171

どのような項目でリスク評価を行い、どう対応すべきか？

●長嶺 祐介

横浜市立大学医学部 麻酔科学

28 術後シバリング……………177

●野口 信弘・垣花 学

琉球大学病院 麻酔科

29 周術期末梢神経障害……………183

●朴 淳姫・廣瀬 宗孝

兵庫医科大学 麻酔科学・疼痛制御科学講座

30 周術期神経認知機能異常 術後せん妄, POCD, 認知症……………191

●細川 麻衣子

昭和大学医学部 麻酔科学講座

31 静脈血栓塞栓症……………199

●堀田 訓久

自治医科大学 麻酔科学・集中治療医学講座

32 術後咽頭痛と嚔声……………205

●小山 行秀・津崎 晃一

医療法人社団こうかん会 日本鋼管病院 麻酔科

33 術中覚醒記憶 その特徴と周術期管理……………211

●坪川 恒久

東京慈恵会医科大学 麻酔科学講座

34 術後肺合併症……………219

●本田 博之

新潟大学医歯学総合病院 集中治療部

35 術後視野欠損……………227

●木村 真也

昭和大学藤が丘病院 麻酔科

36 周術期脳卒中……………233

●吉谷 健司

国立循環器病研究センター 輸血管理部

37 術後腎傷害……………239

●栗田 昭英

金沢大学医薬保健研究域医学系 麻酔・集中治療医学

38 アレルギー既往 局所麻酔薬と抗菌薬を中心に……………247

●高澤 知規 群馬大学医学部附属病院 集中治療部

39 悪性高熱症素因疑い……………253

●三好 寛二・安田 季道・堤 保夫
広島大学大学院医系科学研究科 麻酔蘇生学

PART4 術後管理

261

40 PACU運営による術後ケアへの貢献……………263

周術期を謳うなら、術後ケアへのかかわりも見直そう

●仙頭 佳起 名古屋市立大学大学院医学研究科 麻酔科学・集中治療医学分野/
名古屋市立大学病院 周術期ケアセンター

41 術後疼痛 Acute Pain Service……………269

●近藤 一郎・高野 光司・小池 正嘉
東京慈恵会医科大学 麻酔科学講座

42 術後早期のリハビリテーションの実際……………275

●小坂 誠 近森病院 麻酔科

43 術後外来……………279

●位田 みつる・川口 昌彦
奈良県立医科大学 麻酔科学教室

PART5 周術期チーム医療のこれから

285

44 PERIO 10年を振り返って……………287

●松岡 義和・森松 博史
岡山大学病院 麻酔科蘇生科

45 Perioperative Surgical Home……………291

米国を参考にできるか？

●酒井 哲郎 Department of Anesthesiology and Perioperative Medicine,
University of Pittsburgh School of Medicine

46 ロボット麻酔が周術期管理にもたらすもの……………299

●重見 研司 福井大学学術研究院医学系部門医学領域器官制御医学講座 麻酔・蘇生学分野
●長田 理 国立国際医療センター病院 麻酔科
●松本 悠佳 福井大学学術研究院医学系部門医学領域器官制御医学講座 麻酔・蘇生学分野

47 麻酔科医のタスクシフト……………305

●落合 亮一 元 東邦大学医療センター大森病院 麻酔科